

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-14 小学校施設整備事業						
主管課	学校施設課	関連課					
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立小学校16校の良好な教育環境を確保します。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	8,077人	8,095人	8,070人			
運営資源状況	決算値(千円)	18,107	93,839	82,268	25年度人件費 7,551,719 円/人 (24年度人件費) 7,824,912 円/人 (23年度人件費) 8,427,745 円/人		
	(国・県) (負担金等)	2,819	17,250	12,914			
	(一般財源)	15,288	76,589	69,354			
	人員配置数	0.2人	0.2人	1.0人			
	人件費(千円)	1,510	1,565	8,428			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	19,617	95,404	90,696			
	市民1人当りの経費(円)	110	538	512			
	対象者1人当りの経費(円)	2,429	11,786	11,239			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
小学校施設整備事業	18,107	小学校施設整備事業	138,647	今後の方向性	A	理由・手法	国・県の補助・交付金又は地方債を活用し、事業費のうち一般財源予算の縮減を図る。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	学校教育活動に支障を来すことがないよう修繕及び改修工事に努めているが、多くの小学校が建設から25年以上経過していることから、校舎、体育館及びプール等の外壁、屋根等内外装材、給排水管等衛生設備、並びに校庭、フェンス等外構に損傷の著しい箇所が多く、中には修繕の限界を超えているものもあるため、大規模改修工事による対応が必要。										
課題解決のための取組	児童、教職員及び保護者等小学校施設利用者からの改善要望の多いトイレ改修工事について、平成26年度に実施予定の西鎌倉小学校トイレ改修工事に係る設計業務委託を実施するとともに、植木小学校公共下水道接続工事を実施した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	普通教室不足に伴う校舎の増改築、並びにトイレ改修、普通・特別教室の冷房設備設置、校庭整備、プール建設・改修、特別支援学級全校設置に伴う教室改修、エレベーター設置等、多岐に亘る改修工事。										
中事業の評価	適切○要改善△(2面「評価の視点」を参照) →			①効率性	<input type="radio"/>	②妥当性	<input type="radio"/>	③有効性	<input type="radio"/>	④公平性	<input type="radio"/>
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	耐用年数を超過し、老朽化の進行する学校施設について、改築事業との整合性を考慮しながら大規模改修による延命化を図る。なお、大規模改修による延命化を図ることが困難な学校施設については、鎌倉市公共施設再編計画との整合性を考慮しながら、改築事業の実施について検討する。 また、健康で安全な学習環境を構築するため、明るく清潔感のある快適なトイレづくり(洋式便器、多目的トイレ及びドライフロアの拡充)を進めるとともに、高温・多湿な普通・特別教室への冷房設備設置について検討する。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		→	A	
※□事業完了											

評価者名

学校施設課長

渡辺 英史

